

幼珠連通 信

全国幼児珠算教育連盟
発行責任者 大西信二

微差力

会長 井上 文克

お陰様で元気に2010年を迎えることが出来ました。今年3月16日には満88才となります。不思議なご縁で、(『微差力』斎藤一人著 サンマーク出版)を読む機会に恵まれました。この本に出会って、生きている限りはやる事がまだまだある事に気付かされました。感謝の気持ちを込めてご紹介させていただきます。

『微差力』の著者 斎藤一人さんは「銀座まるかん」(日本漢方研究所)の創設者で、1993年次来、毎年、全国高額納税者番付(総合)で10位以内に連続ランクインされ、2003年分では第1位で、納税額はすべて事業所得によるものであると記されています。又、著作としては、ロングセラーズより『斎藤一人この不況で損する人この不況で得する人』、『運命は変えられる』、『地球が天國になる話』、綜合法令出版から『変な人の書いた成功法則』、マキノ出版から『千年たってもいい話』が出ています。『微差力』の追伸に、この本は最低でも七回読んでください。と述べられていますが、二回読了の時点で、私の選んだ一章を転載させていただきます。

(わかる人には、この話はスゴイ話ですよ)

人間界って、おもしろいですよ。人間は、だいたい同じような波動の人と一緒にいるのです。簡単に言うと、「常に、どんぐりの背比べ」みたいなものです。そのなかで、一個だけ微差をつけると、頭一個分、上がります。頭一個分上がる、それだけで十分です。頭一個分、出てくると、今度、そこまでまた、どんぐりの背比べになります。つきあう人とかが、今までと違ってくるけれど、常にどんぐりの背比べ。だからその中から、また一個分だけ、ちょっと、出ればいいのです。「自分が伸びる」とか、「どんぐりがデカクなってくる」と言う、たいへんそうに思いますよね。ところが、本当は、たいへんではないのです。

たとえば、たとえばの話ですよ。日本一高い山といえば、富士山ですよ。自分を日本で一番高いところに置きたかったら、富士山に登ればいいんですよ。富士山のてっぺんに行くと、日本で一番になれる。ただ、富士山には、年間何万人かが登るんです。じゃあ、日本一にならないじゃないかと思うかもしれないけれど、ほとんどの人は、肝心なことを忘れてる人です。それは何か。富士山に脚立を持って行く人が一人もいない。踏み台をかついで行って、山頂で踏み台を出して乗れば、日本史上最高に高いところに立てるので。せこい話かもしれないけれど、事実上、そうなんです。脚立を持って行く、この微

差で、大差なんです。

要するに、自分がある業界、職場でも、一番の人がいますよね。その人がやっていることを、じいっと見て、いいことをマネすればいいんです。そこに脚立分だけ、ちょっと微差をつければいいだけなのです。そしたら大差です。わかりますか？

伝票算検定が復活—— 本年6月検定試験から実施——

事務局長 大西 信二

日商主催の平成14年6月の第165回珠算能力検定試験から伝票算が消え去り、その影響で、伝票算の練習を止めてしまっている教室が多いことに危惧をいただいております。この状態では、先人が考案した伝票算の計算技能を知らないまま終わってしまう珠算生徒が大半となってしまうことであらうでしょう。

平成21年6月、日珠連近畿珠算団体連合会の総会で、伝票算の必要性と伝票算検定試験の復活を提案しましたところ、近畿各団体代表者から賛同があり、早速、各代表者から署名をいただき、日本珠算連盟へ伝票算検定試験の実施の要望書を提出しました。

その後、日珠連では十分な審議がなされていない状況もあり、近畿珠算団体連合会では、近畿の府県下で独自の伝票算検定試験を立ち上げて実施し、将来、日珠連・日商へと広げて行くことになりました。

幹部会で、問題程度などの素案を作成するにあたり、①左手の親指・人差し指で伝票をめくりながら計算できる。②位違いの計算を行えるようにする。③1問題を1分程度を集中して計算することができる。という基本点を考慮して内容と程度を提案し、昨年末の近畿珠算団体連合会代表者会議で承認を得て、伝票算検定試験を実施することになりました。

第1回検定試験 平成22年6月27日(日)

伝票算検定試験実施規則

主催：日本珠算連盟 近畿珠算団体連合会

第3条 伝票算検定試験は3級から1級までの三段階で、その程度の桁数は従来の日商検定の伝票算とほぼ同じであるが、伝票枚数は10枚とする。各級の問題内容（加算のみ）はつぎの通り。

3級試験	3桁3枚（9字）	4桁4枚（16字）	5桁3枚（15字）	総字数 40字
2級試験	4桁2枚（8字） 7桁2枚（14字）	5桁3枚（15字）	6桁3枚（18字）	総字数 55字
1級試験	5桁2枚（10字） 8桁2枚（16字）	6桁2枚（12字） 9桁2枚（18字）	7桁2枚（14字）	総字数 70字

計算問題題数と合格基準について

第4条 伝票算検定試験は各級とも20題問題、制限時間20分で140点以上を合格点とする。

問題数	制限時間	採点（1題）	合格基準点（満点200点）
20題	20分	10点	140点以上

審査方法について

第5条 各級答案の審査基準は、日商検定試験審査基準に準拠する。

合格証書の発行者について

第6条 各級の合格者には、合格証書を授与する。

受験料と申し込み受付について

第7条 各級の受験料は800円とし、珠算能力検定と同時に申し込みを受付ける。

第8条 この検定制度は平成22年度より年3回実施する。

全国幼児珠算教育連盟ニュース

平成22年1月15日

第


216号

ハンガリーのそろばん（中）

東大阪珠算協会 鈴木 巖

算数の授業におけるそろばんの使い方 小学1年生

授業回数:そろばんの使用内容とその要点（39時間目から185時間まで毎時10～15分）

- 39: そろばんの導入。音、歴史、成り立ち、使い方。正しい座り方、そろばんの置き方、ご破算（必ず左から右へ、できるようになるまで練習すること）。
- 40: そろばんの玉を使って4を分解し、そろばんの数字を読む。5の珠は人差し指でしか触らないことを教える。
- 41: 2を置くときにはどの指を使いますか？1を払うときにはどの指を使いますか？と子供に質問しながら。5の分解とその読み上げ。（梁上の5玉を横にを使って指導）
- 
- 1 + 4, 2 + 3, 3 + 2, 5 + 0
- 42: 桁を4つ使った1玉運指の練習。+1+1+1+1、+3+3+3+3、-4-4-4-4、+2+2+2+2、-2-2-2-2。4までの数を数える。
- 43: 桁を4つ使ったの運指の練習。+1+1+1+1、+5+5+5+5、-1-1-1-1、-5-5-5-5、+3+3+3+3、-2-2-2-2。どの指を使っているかみんなで声を出す。5以上の数の置き方。大そろばんや絵で数字の確認。
- 44: 5の分解の練習。答えが5になる2、3、1のおともだちは・・・という質問をして、誰が一番早く答えられるかを競う。
- 45: 桁を4つ使ったの運指の練習。親指と人差し指で同時にはさむ6のはじき方。6を足しながら、パチ、パチ、パチといわせる。
- 46: 1の位で2と2を足し、もし何も残らなければ偶数、玉が一つ残れば奇数の数であるということを説明。
- 47: そろばんの数カードの導入（表は数、裏はそろばんの玉で表の数を表してある）、数の多い順、ついで少ない順に並べる。
- 48: 私が考えている数はなんでしょう？：珠をひとつ使う、3より大きい数です（答え5）。
- 49: 二つの珠を同時に置く運指の練習。私は2つの数を考えています：両方とも4つの珠を使っておくことができます（答4、8）。より大きな数のとなりの数もみてみよう。
- 50: 一人の生徒は黒板のそろばん、残りの生徒は暗算スタイルで次の問題を解く：そろばんに2を足して、さらに5を足してください。答えは？
全員自分のそろばんに7の可能な分解をおいてみる。

51: ある数字を考えています：珠を5つ使います。正解と思われる数カードを選んでもらい、上にあげてもらう。引き続き数カードを使って：9の数カードを前においでください。指で珠をひとつ隠してください。そろばんはいくつになりましたか？（答：8か4）黒板のそろばんで答を確認。今度は珠を2つ隠して、3つ隠して……と続ける。

52: 桁を4つ使って運指の練習。 $+8+8+8+8$ 、 $-8-8-8-8$ 。そろばんで8の分解を学ぶ。

$1 + 7,$ $2 + 6,$ $3 + 5,$

珠 算 しゅげん -70- 日々の授業によるこびを見出そう！

自分の好きなことであるソロバン指導を仕事にし、
それで生活できれば、こんなに幸せなことはありません。
実際、学校を卒業して、実社会で自分の好きな仕事に
ついている人は十人に一人、いや百人に一人もいない
とされています。

といっても、好きな仕事に就けなかった人が、直ちに不幸せな人というわけではありま
せんし、本当に不幸な人というのは、「生活のために、したくもない仕事をしかたなくや
っているだけだ」などと嘆いている人のことでしょう。その点、好きで珠算教育に携わっ
ている私たちは、恵まれている仕事ではないでしょうか。

人間は、誰でも人生の大半の時間は、仕事に費やして生活をしています。それなのに、
仕事によるこびや価値を見出さずに、仕事をするのは・・・ただ、ただ、お金のために
だけという生き方は、もったいない限りでありましょう。

日々、私たちは、仕事として授業を楽しく行い、指導するよろこびを感じ、授業を通し
て多くの生徒・保護者との出会い、さまざまな刺激を受け合い、経験を重ねて、人間的
にも成長していけることであり、そのような生き方をめざしたいものです。

「仕事が楽しみならば、人生は楽園である。だが、仕事が義務ならば、人生は地獄だ」と、

ロシアの作家ゴーゴリーの言葉があります。

私たちが珠算教育の仕事としていつまでも継続するためには、珠算教育そのものが社会から認められ、より一層 評価を受けなければなりません。自分の一地域・一塾だけの振興ではなく、珠算教育界の振興がなされてこそ、その評価が全地域へ広がります。

今年も、各会員が大きな視野に立ち、珠算教育の振興に共に努め、好きな珠算教育がますます繁栄しますよう頑張りたいものです。

全国幼児珠算教育連盟ニュース

平成22年1月15日

第216号

珠算検定受験者数が年々増加 そろばんの評価が高まっています。

守口門真珠算協会 大橋多美子

近年、日本商工会議所が主催する珠算検定試験の受験者数が全国的に年々増えています。当地域の守口門真商工会議所においても受験者数が下記の表のように、6年前の平成16年2月の試験では333名の受験者でしたが、年々受験する生徒の数が増えています。今年の2月の試験では、500名を超える生徒が受験します。実に50%アップです。

少子化社会に入り、それにつれて検定試験を受験する小中学生も減少すると、一般では考えがちですが、現実には受験する小中学生が増えています。これは小学生の基礎能力、とりわけ、計算能力の低下を防ぐために、そろばん学習の重要性が認識された結果でしょう。

コンピューター社会が進み 人間は便利さ のみを 追求し、計算は電算機にまかせてしまったために、その計算力・思考力などが低下してしまう結果となり、人間として必要な基礎能力の大切さが認識された結果でありましょう。

また、そろばん学習教材を準備するにおいても、コンピュータ機器の進歩・普及で、フラッシュ暗算の問題を作問ソフトとして作成され、そろばん教室においても、その練習を容易にできるようになりました。また、マスコミでもテレビ放送でフラッシュ暗算が放映されることも多くなり、珠算式暗算のすばらしさを社会一般の方にも理解していただき、そろばん学習の振興に結びつつあるように思われます。

さらに、兵庫県の尼崎市では6年前から、計算特区として 小学校教育の中で、そろばん学習を始められ、その結果、集中力・忍耐力などで他の教科にも良い影響があることが評価され、平成21年度から尼崎市下の全小学校で実施されるなど、そろばん学習の評価が日増しに高まりつつあります。

日本商工会議所・守口門真商工会議所主催

第185回珠算能力検定試験

1. 2. 3級珠算検定試験受験者数推移(2月検定) 守口門真商工会議所

回数	年月	1級	2級	3級	合計
第170回	16. 2月	73名	98名	162名	333名
第173回	17. 2月	73名	102名	180名	355名
第176回	18. 2月	79名	112名	175名	366名
第179回	19. 2月	98名	139名	171名	408名
第182回	20. 2月	92名	157名	197名	446名
第185回	21. 2月	96名	167名	217名	480名
第188回	22. 2月	100名	165名	243名	508名

「暗算指導」-12

④ 法 2 桁、商 4 桁

1. 指導の第一歩：実数を直ちに珠に変換して、立商する。

最初はまず、商の頭数を書き、実数の珠イメージで商×法数を減じ、さらに残りの実数から次桁の商を求め、商×法数を減じて、商を求める。

(答えの部分書き)

2. 指導の第二歩：計算の速度を高めるために、商は一度に書く。(答えの一度書き)

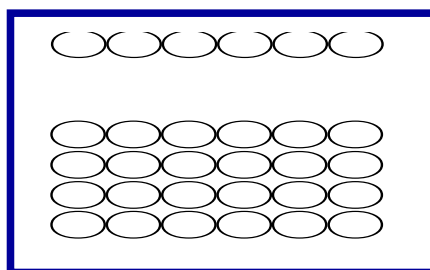
3. 指導の第三歩

問題①を計算して、その答えを書きながら、次問②の問題を計算するように努める。

(計算のコンビネーションを高める)

4. 指導の第四歩

指を動かさずに珠のイメージのみで計算する。



商除法(実÷法) 実数 法数

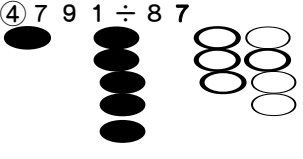
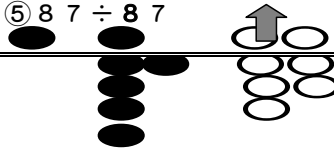
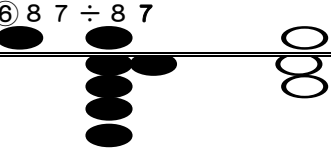
例題：442, 917 ÷ 87 =

①②わられる数(442)を珠でイメージする。5を立商し、5×8、5×7を減じる。

③④残7と91で、実791をイメージして、09を立商、9×8、9×7を減じ。

⑤⑥残87をイメージして、1を立商、1×8、1×7を減じて、5091の商を求める。

<p>① 4 4 2 ÷ 8 7</p> <p>5 × 8 = 4 0 とひく</p>	<p>② 4 4 2 ÷ 8 7</p> <p>5 × 7 = 3 5</p>	<p>③ 7 9 1 ÷ 8 7</p> <p>9 × 8 = 7 2 とひく</p>
---------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------

5を書き、40をひく 写像4291	続いて35をひく 写像791	頭次数0、9を書き 72をひく、写像717
④ 791 ÷ 87  9 × 7 = 63をひく	⑤ 87 ÷ 87  1 × 8 = が8をひく	⑥ 87 ÷ 87  1 × 7 = が7をひく
続いて63をひく 写像87	1を書き 8をひく 写像7	続いて7をひく 答え5091

以上は答えの部分書きの方法で除暗算の導入計算方法であり、慣れれば 答えを一度書きでできるように練習をしましょう。

上達を「願い」ましては・・・ 天満宮でそろばんはじき初め

『学問の神様、菅原道真公を祭る大阪市北区天神橋2丁目の大阪天満宮境内で1月3日(日)、「新春奉納はじき初め大会」が開かれ、千人以上の子ども達が上達を願ってそろばんのはじき初めを行った。

同大会は、あらためてそろばんの良さを多くの人に感じてもらおうと、大阪府珠算教育連合会が新春の恒例行事として開いており、今年で26回目。そろばん人口はここ5年ほど増加しており、2009年度から小学3年生に加えて4年生でもそろばんの授業が行われるようになったという。境内には、長さ180センチ、127桁のそろばん6丁を用意。「梅色」の法被に身を包んだ参加者らは神職からおはらいを受けた後、3人で1丁のそろばんを使い、真剣なまざしで3けたの計算2問ずつに挑戦した。

豊能郡豊能町から参加した中学1年生の大原幸乃さん(12才)、小学5年生の晃生君(11才)のきょうだいは「2問とも正解した」と笑顔。「正解するうれしさとそろばんをはじく快感が魅力。これからも続けたい」と話していた。』

以上、はじき初めの模様を報道していただいた1月4日(月)大阪日日新聞の記事です。大阪府珠算教育連合会は日珠連・全珠連・全珠学連の各大阪府支部が一丸となり運営し、毎年、大阪府下の「小学校支援活動」・「はじき初め大会」と「生徒募集チラシの発行」を実施し、大阪府下の珠算教育の振興に努めています。

はじき初め委員会は日珠連・全珠連・全珠学連から60名程のメンバーで構成、大会当日は総務・進行・読上・招待・参加記念・生徒誘導・写真・報道渉外と手分けして運営しています。さらに、この大会を準備する準備委員会として、参加賞の選定・準備と法被(はっぴ)の制作・パンフの原稿作成・発行などの業務を十数名の委員で担当しています。

はじき初め大会に参加する生徒に着用する法被を準備し、着用した法被を記念品の一つとして贈呈します。平成19年は紺色、20年はエンジ色、21年は緑色、22年は梅色と毎年、色を変えて作成しますので、好評を得ています。特に、外国人珠算講座に受講して

いる外国人の方も参加され、着用の法被を贈呈するので、日本からのお土産としても喜ばれています。今年は梅色の法被姿で、はじき初め会場の境内に入るまでの行列が400社も続き、新春の参拝風情に一段と華やかさを増しました。今年は昨年度より200着も多く、1200着を用意しましたが、午前9時45分に開始した大会は、午前11時30分頃には法被の残もなくなり、正午前には終了することとなりました。

さらに、この大会を盛り上げるために、昨年度より小冊子「はじき初めパンフ」を準備委員会で編集発行し、今年は160口の協賛を得て小冊子3000冊を発行しました。お陰で、法被作成費用の一部を補うことができ、大会当日、天満宮に初詣される参拝者にもこの小冊子を配布し、そろばん教育の重要性を訴え、その理解度を高めるように努めることができました。

平成22年1月15日 第216号

2010感動のメール

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

去年の秋、アメリカ在住のK氏から感動のメールをもらった。それも写真15葉余添付してあった。胸詰まるもの、勇気づけられるもの、反省されるもの、見るに忍びない写真等々・・・紙面の都合ですべてを掲載できないのが残念です。人並みの苦労はあっても、私達は幸せでしょう。もうこれ以上苦情や文句は余言わないで置いて、そして人に幸せの幾らかでも分け与えることを考えましょう。が友人K氏の提言でした。

新年度のお稽古で、子供たちにも話しをしました。どんな感動を持って耳を傾けたでしょう。将来が楽しみです。

余にも刺激的なのはさけて、下記の二葉をご覧ください。

英文の要点は、左の写真は「誰かがあなたの欲しがっていたナイキの替わりにアディダスをくれたので、それが気に入らないのですか？でも、この人たちにあるのは一つっきりのブランドだけなのですよ」ご覧のように、ペットボトルを縦割りして靴にしているようです。右の写真は「勉強するのが鬱陶しいのですか？でも、子供たちにとっては、そうじゃあなさそうですよ」校舎もノートも鉛筆も無いようですね。

高齢者の仲間入りを果たした私は、私なりに、目下、ミニ作品（心を癒す童謡を書いています）の売り上げをささやかながら募金に協力して、子供たちへの説得力をつけているところです。

デフレ・スパイラルの渦巻く今世相では、我々の周りにはあと三分の二に近い兄弟、姉妹達がもがき苦しんでいる姿を忘れてはいけません。この近代的で、進歩的な社会の中で、消費第一主義、不道徳性などきりの無い繰り返しを続けていくことはもう止めなければならない時期に来ています。

過去の記事にも書いた100年前のイギリスの教育者「物富みて、人富まざるの矛盾」の言葉を思い出します。今年もよろしく申し上げます。
